

努力の上に花が咲く～PTA 健全育成講演会より～

暦の上では昨日から「立冬」だそうです。ここのところ一段と秋が深まり、校庭の木々や周辺の山々も黄や赤に鮮やかに色づいています。そんななか、11月1日(火)には3年生対象の親子進路学習会を実施しました。寒い中でしたが、たくさんの保護者の方々に参加いただき、今年度の県教委主催の進路事務説明会を受け、昨年度までの相違点や提出書類、入試日程など説明させていただきました。3年生にとっては、まだまだ大切な試験が続くとともに、いよいよ進路決定の時期を迎えることとなります。自分自身の目標達成のために頑張りましょう。

また、11月2日(水)には、PTA 研修部主催のPTA 健全育成講演会を開催しました。以前は全校生徒、保護者を対象に行っていましたが、今回もコロナの影響で、昨年度と同様に、全校生徒対象とし、保護者については研修部などの役員さんを中心に会の運営をしていただきました。(ライブ配信も行いました)今年度は、島沢優子さんの著書「左手一本のシュート」(小学館文庫)のモデルとなった田中正幸さんに、お忙しい中、来校いただきました。また、この本はドラマ化もされ、BS-TBSの開局20周年記念の2時間ドラマとして放送されました。

この本の主人公は当時19歳の田中正幸さん。田中さんは、山梨県中央市出身。小学校5、6年のときはミニバスの全国大会に出場、田富中学校時代は中学県選抜のエースとして注目の選手でしたが、日川高校入学直前に脳内出血で倒れ、昏睡状態になりました。生死をさまよひ、死の淵から蘇りましたが、利き手の右手と右足が不自由になったそうです。リハビリのため1年間休学し、日川高校へ復学、バスケットボール部に戻ってきたそうです。それからは、まひの残る身体で誰よりも練習し、後輩の面倒もみるなど、もう一度試合のコートに立つことを目標に頑張っていました。そんな田中さんのあふれ出る情熱に、姿勢に、仲間は奮い立ち、インターハイ予選(公式戦)でシュートを決めさせようと結束し、そして実現をさせました。田中さんは3分32秒、試合に出場。左手でパスを受け、そのままシュートを決めました。1167日間・・・、田中さんが試合のバスケットコートに戻るまでの時間。想像を絶するような厳しくつらい時間だったと思いますが、仲間に支えられながら、ずっとひたむきに努力を続けた日々でした。日川高校卒業後、田中さんは東京福祉大学に進学し、東京にある建築関連の会社に勤めながら、新たな夢に挑み、競泳で東京パラリンピック出場を目指しました。残念ながら、その目標はかなうことはありませんでしたが、10年間必死に挑み続けました。



今回の講演は、「玉幡中学校のみんなが夢を実現する時の勇気につながればいい」とたいへんお忙しい中、快く引き受けてくれました。「諦めず、挑戦することの大事さを伝えたい」と語り、講演会のなかで、田中さんが真摯に話してくれた言葉や当時の映像は、私たちの心を強く打ち、大切なことを教えてくれた気がします。

【生徒の感想】

☆何かを積み重ねることや努力の大切さを改めて知ることができました。また一人ではなく、たくさんの仲間がいるからこそ成功できるものがあるとわかりました。私はバスケ部に入っています。試合の結果は大切ですが、それ以上に仲間の存在と協力を大切に、試合でよい結果を出せるように頑張りたいと思います。(1年2組 中村勇海さん)

☆「左手一本のシュート」はチームメイトや支えてくれた人たちのお陰と話してくれました。すごいと思いました。急に倒れて、つらく、きついのにそれでもコートに立ちたいと思う強い気持ち、また一年間も学校を休んでリハビリをするということは、とても勇気があることだと思いました。玉中生のためにわざわざ時間をくださりモチベーションがあがりました。僕も花を咲かせるように努力したいです。(1年3組 井上陽結さん)

☆いつ何が起って、自分の思うようにできなくなってしまうことがあるかも知れないと考えさせられ、一日一日を大切に、そして夢や目標をもって、これからは歩いていきたいと思いました。田中さんに「努力をすれば必ず花が咲く」ということを教えてもらったので、私もあきらめず、自分の夢を実現することができるように頑張っていけるようにしたいです。(2年1組 清水未歩さん)

☆私はバスケット部に所属しています。突然バスケットができなくなるなんて私には考えられません。想像するだけで苦しくなります。それでも田中さんは共に戦う仲間とバスケットをもう一度するために、夢をあきらめずに努力をされていて、すごいと思いました。講演を聞いて、私は自分のできることを精一杯やり、楽しもうと思えました。本当にありがとうございました(2年3組 名執柚季さん)

☆私たちのために、講演をしてくださり、本当にありがとうございました。「夢」「努力」「支え」「努力の上に花が咲く」。私が今後生きていくうえで必要であろうことをたくさん学ぶことができ、本当に良かったです。田中さんのように、夢に向かってひたすら努力をしていきたいです。(3年2組 星岳宏さん)

☆脳溢血になり、それまでの生活が変わってしまっても、チームメイトの言葉や周りの方々の支えで、バスケットの試合にもう一度でて、シュートを決めたというのは、本当にたくさんの努力をされたからできたことなのだとわかりました。これから私たちは初めての進路選択があり、一人一人がそれぞれの夢や目標をもって未来に進んでいきます。その過程で、自分にできる最大限の努力を尽くし、何事にも全力で取り組むことの大切さを学ぶことができました。(3年3組 福留朋葉さん)

| 部活動名 | 男女 | カテゴリー | 結果 試合1 | 結果 試合2 | 試合3 |
|--------|----|-------|--|--|----------------------|
| バレーボール | 女子 | 県新人戦 | 1回戦 甲府城南2-0 敗退 | | |
| ソフトテニス | 男子 | 県新人戦 | 真瀬詩音・鈴木大輝ペア 1回戦 4-2 北東 2回戦 0-4 石和 | | |
| ソフトテニス | 女子 | 県新人戦 | 西野優寿・藤森夏希ペア 1回戦 4-0 藤崎東 2回戦 1-4 吉田 | | |
| サッカー | | 県新人戦 | 1回戦 vs甲府西8-0 2回戦 vs忍野山中湖合同1-3 | | |
| テニス | 女子 | 県新人戦 | シングルス 県1位 田島 沙帆 | | |
| 空手 | 男女 | 県新人戦 | 団体形 2位 長沼もも香・岩下 明・飯野美蒼 | | |
| バドミントン | 女子 | 県新人戦 | ダブルス 藤巻心瞳・清水未歩ペア 初戦敗退 深沢遥菜・樋口琉莉ペア 初戦敗退 小尾春菜・塚原妃南ペア 1回戦勝利、2回戦敗退 | シングルス 藤巻心瞳初戦敗退 清水玲奈初戦敗退 清水未歩ベスト16 | 団体戦 1回戦(玉幡中1-2城南中)敗退 |
| 陸上 | 男子 | 県新人戦 | 1年男子総合 3位 1年男子100mH 1位 阪本翔 1年男子走幅跳 2位 阪本翔 1年男子棒高跳 2位 石川樹 1年男子走高跳 1位 光藤颯汰 1年男子4×100mR 2位 光藤颯汰 古屋陽生 阪本翔 望月琉翔 | 1年男子棒高跳 4位 古屋陽生 | |
| | 女子 | 県新人戦 | 共通女子棒高跳 1位 細田いろ葉 共通女子棒高跳 3位 滝沢陽菜音 共通女子走幅跳 3位 清水るい 1年女子4×100mR 3位 望月真菜 吉垣菜緒 池田心優 細田いろ葉 | 共通女子走幅跳 6位 細田いろ葉 1年女子200m 6位 池田心優 1年女子200m 8位 吉垣菜緒 | |
| なぎなた | 男子 | 県新人戦 | | | |
| | 女子 | 県新人戦 | | | |
| 剣道 | | 県新人戦 | 男子個人 中村 勇海 3回戦敗退 | | |
| 柔道 | | 県新人戦 | 81kg超級 1回戦敗退 | | |

| | | | |
|--------------------|-------|-----|-------|
| 第68回読書感想文コンクール | 中巨摩支部 | 入選 | 大沼 優希 |
| 第68回読書感想文コンクール | 中巨摩支部 | 入選 | 田中 美有 |
| 第68回読書感想文コンクール | 中巨摩支部 | 佳作 | 星 岳宏 |
| 第68回読書感想文コンクール | 中巨摩支部 | 入選 | 三井 愛夢 |
| 第68回読書感想文コンクール | 中巨摩支部 | 入選 | 戸栗 夏美 |
| 第68回読書感想文コンクール | 県 | 入選 | 星 岳宏 |
| 令和5年度国土緑化運動・育樹運動標語 | | 優良賞 | 脇山 絢 |

| | | | |
|------------------|--|-----|-------|
| 第32回中巨摩中学校英語暗唱大会 | | 1位 | 勝村 陽葉 |
| 第32回中巨摩中学校英語暗唱大会 | | 奨励賞 | 田 暁睿 |

